

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : たしま友遊苑

作成日 : 平成23年3月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者に対する言葉かけや、介助の方法が相手を尊重した態度になっていない。無言での介助になったり、言葉かけが雑になってしまうが場面ある。	指摘のあったエプロンの着脱に限らず、介助動作に合わせた言葉掛けがうまくできていない場合があるため、介助行為に合わせた言葉掛けを行う。一つ一つの介助を丁寧に行う。	①エプロンに限らず、衣服の着脱を含めて利用者を尊重した姿勢で介助に努める。 ②介助行為に言葉掛けができていない。例えば入浴時の洗髪や洗身を行う場合でも無言で行うスタッフがいるので、介助する前には必ず「〇〇しますよ」等の言葉掛けを必ず行うように努める。	半年
2	10	運営推進会議への家族出席が限定(小数)であり、会議が全体的なものになっていない。家族の中にはホームに任せっきりになる場合があり、ホーム・家族の連携にならない。	運営推進会議の大切さを家族へ訴え、家族出席が多くなるよう努める。	友遊通信に限らず、毎回、開催前には家族へ案内をかけたいるのだが、なかなか出席されない家族がいらっしゃる。引き続き、家族出席を文書等で働きかける。	継続
3					
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。